

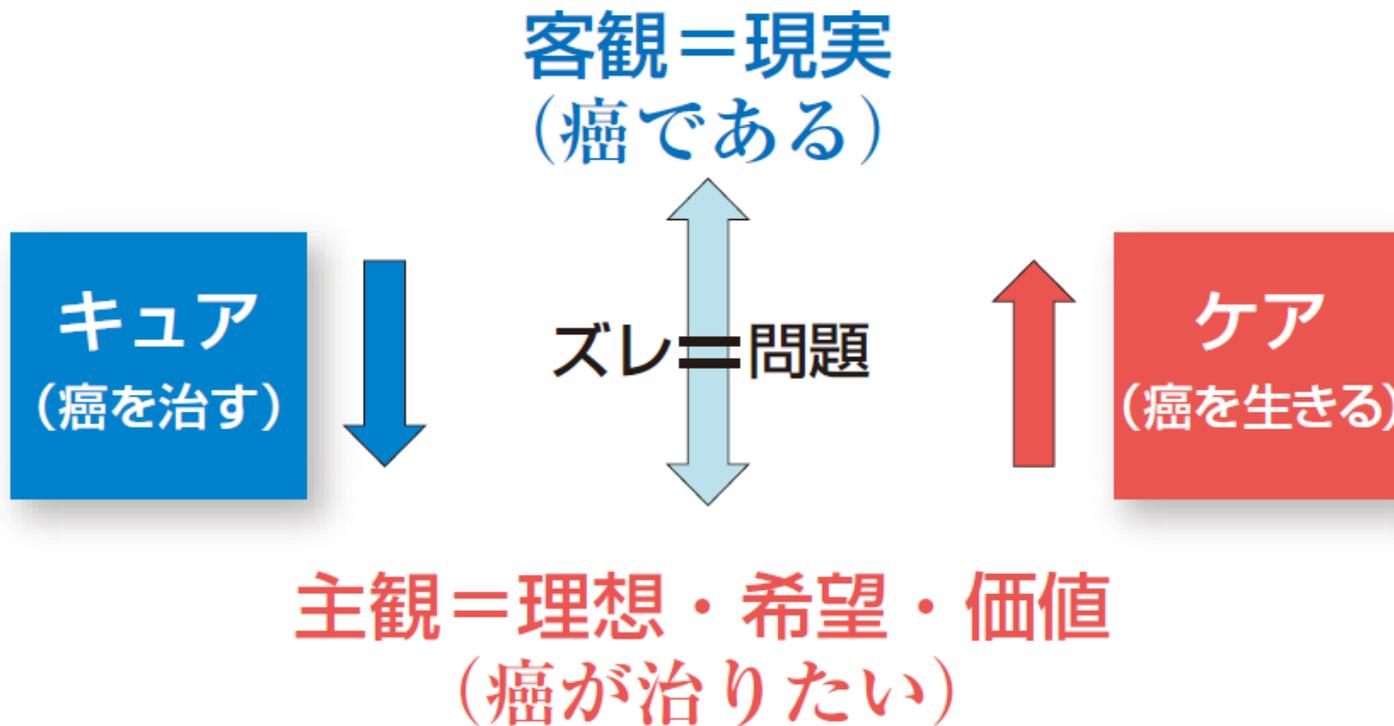
# ランチオンセミナー14

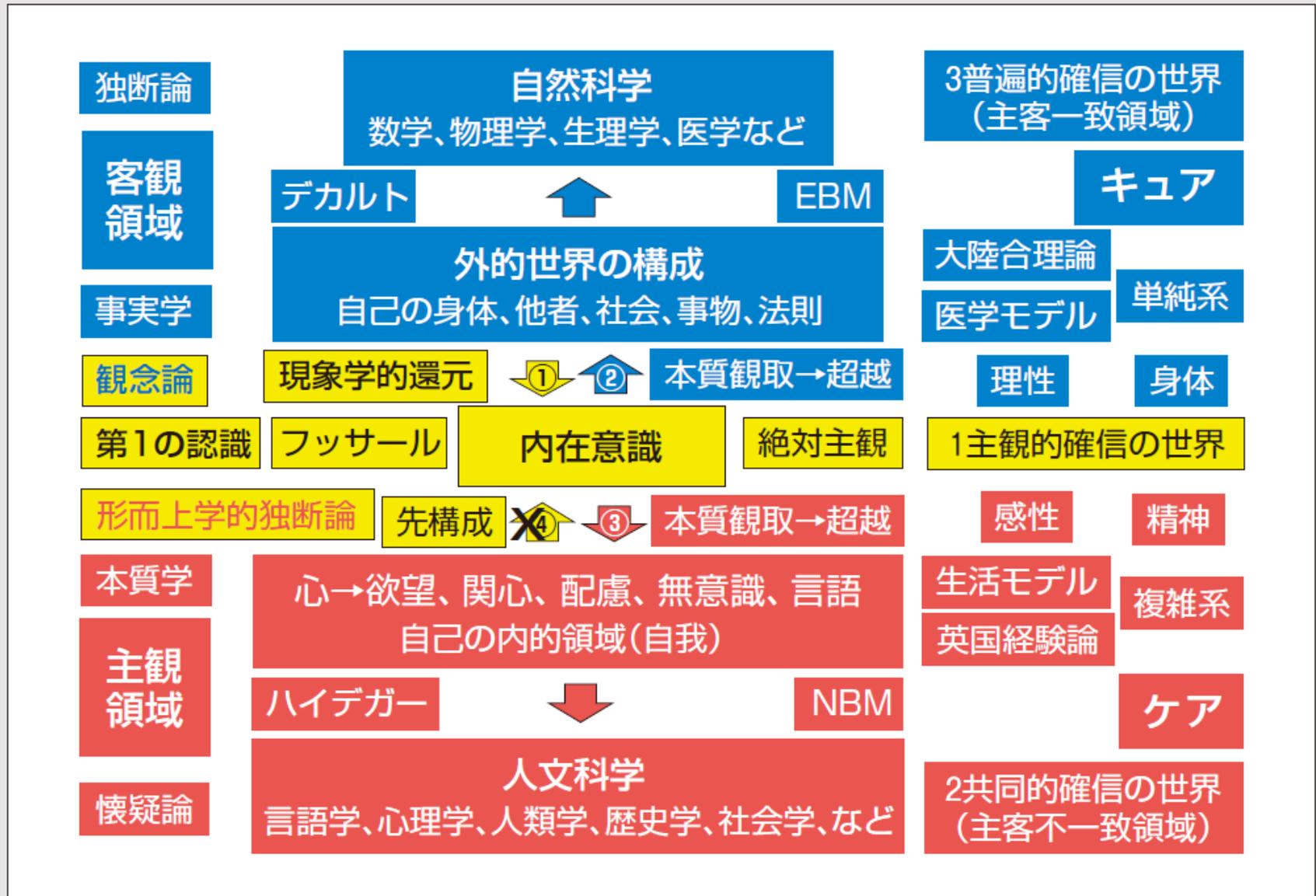
## 医療介護専用SNSを活用した 多職種連携の実際

医療法人ナカノ会

ナカノ在宅医療クリニック

中野 一司





# 縦関係＝支配・被支配(共依存)の関係

## ② Inter-personal cure

自己(客観)

二人称

他者(客観)



① Inter-social care



社会(世界)に従い  
自己(客観)を変える



③ Inter-self cure

非本来的  
生き方)

劣等感、自己嫌悪



教養の世界＝社会に生きる

一人称

死(時間)を意識  
ICT



三人称

社会(客観)



⑥ Inter-social cure  
行動する良心＝社会を変える  
社会貢献、テロ

自己受容、自愛

本来的  
生き方)

④ Inter-self care

自分(心)に従い  
自己(主観)を変える



間主観(社会の主観)



自己(主観)

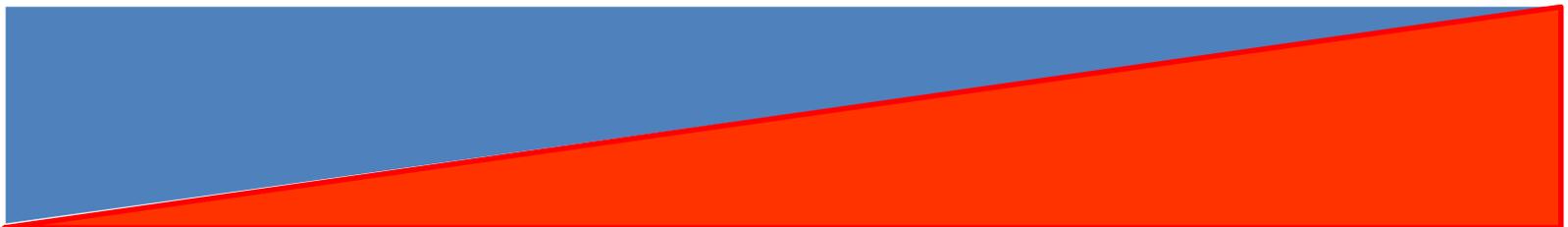
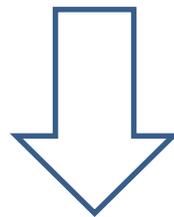
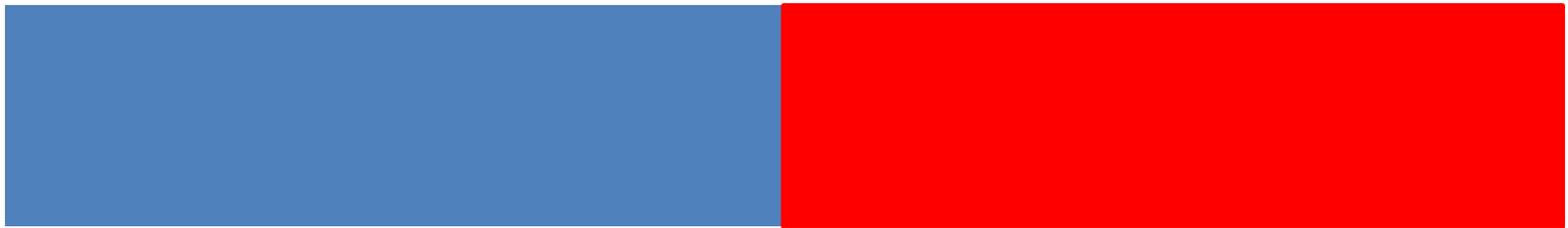
二人称

他者(主観)



⑤ Inter-personal care  
横関係＝共生関係

# 癌における キュア（癌治療）から ケア（緩和ケア）へ



# ナカノ理論による医療・介護の分類

1) キュア志向の病院医療  
(治す病院医療)

2) ケア志向の介護  
(支える介護)

3) キュア・ケア志向の在宅医療(狭義)  
訪問診療や訪問看護、訪問服薬指導  
(治し・支える医療)

# (図4) 地域包括ケアシステムにおける医療と介護の連携

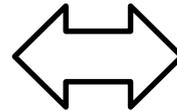
キュア志向の病院医療 (急性期医療)      キュア・ケア志向の在宅医療 (慢性期医療)

油

界面活性剤

救急科専門医  
総合内科専門医

在宅主治医  
(総合診療専門医)  
訪問看護師



連携



連携

各診療科専門医

ケア志向の介護 (多職種)

連携



ケアマネジャー  
介護士  
訪問看護師

水

従来の分野別専門医  
(18診療科専門医)

病院内

病院外 = 地域 (在宅、施設)

# ケア志向の在宅医療(広義) (支える医療・介護)

= 2) ケア志向の介護

+

3) キュア・ケア志向の在宅医療(狭義)

= 病院外(在宅、施設)での医療・介護

## キュア志向の病院医療とケア志向の在宅医療(広義)の違い

キュア志向の病院医療      Inside the Hospital

＝医療機関内(病院や外来)医療

＝医療機関内(入院、外来)で行われる医療

＝治療(キュア)が優先される医療

＝病気(疾患)が優先される医療

ケア志向の在宅医療(広義)      Outside the Hospital

＝医療機関外(地域)医療・介護

＝地域(在宅、施設)で行われる医療・介護

＝生活(ケア)が優先される医療・介護

＝人(生活)が優先される医療・介護

# 病院医療と在宅医療の医療哲学の違い

＝キュア志向の病院医療

＝病院内(入院や外来)医療

＝急性期医療

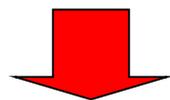
キュア・ケア志向の在宅医療(狭義)

＝病院外(地域＝在宅や施設)医療

＝慢性期医療

# 慢性期医療の哲学

キュア志向の病院医療  
病院内(入院や外来)医療  
急性期医療の哲学



キュア・ケア志向の在宅医療(狭義)  
病院外医療(地域＝在宅や施設)医療  
慢性期医療の哲学

# 「ご当地医療」に大転換

増やすのは生命の「量」から「質」に

<b>これまでの医療</b> (1970年代モデル)	<b>これからの医療</b> (2025年モデル)
● 体を治す医療	● 生活を支える医療
● 病院完結型	● 地域完結型
● 入院医療	● 在宅医療
● 救命、延命、治療	● 病気(合併症)と共存
● 社会復帰	● QOL(生活の質)、QOD
● 寿命 60歳代	● 寿命 80歳代

# ICT構築における、**キュア志向の病院医療**と**ケア志向の在宅医療**の違い

	キュア志向の病院医療	ケア志向の在宅医療
画像情報	○	△
心電図	○	△
血液検査	○	○
遠隔医療（検査、診断）技術	○（診断）	○（コミュニケーション）
生活情報（食事、睡眠、排便など）	△	◎
高いセキュリティ	◎	△
高いリテラシー	○	◎

\* 結果のレポートがあればよい

**セキュリティの確保のために、  
MLの代わりにMCSを使おうと  
チャレンジしています。**